

面会用・移動式陰圧ブースのご提案

面会・内覧・待合・軽傷者の搬送用としてご利用頂けます

株式会社レブセル

令和3年6月1日

現状の面会方法 対面方式

防護服やフェイスガードを付けての面会か、アクリル板やビニールシートで隔てた簡易面会室などをご利用されています。

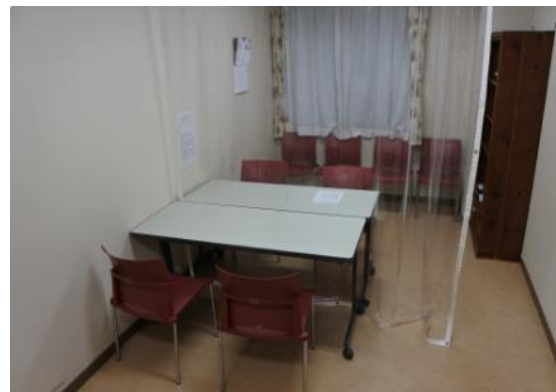
防護服、フェイスガード、
マスクを着けた面会

脱ぎ着が負担
使用済防護服等の処理が負担
顔が良く見えない
夏は暑い



面会室を作り
ビニールシートや
アクリル板越しの面会

移動中フェイスガードや
防護服が必要
施設内に通す事に不安

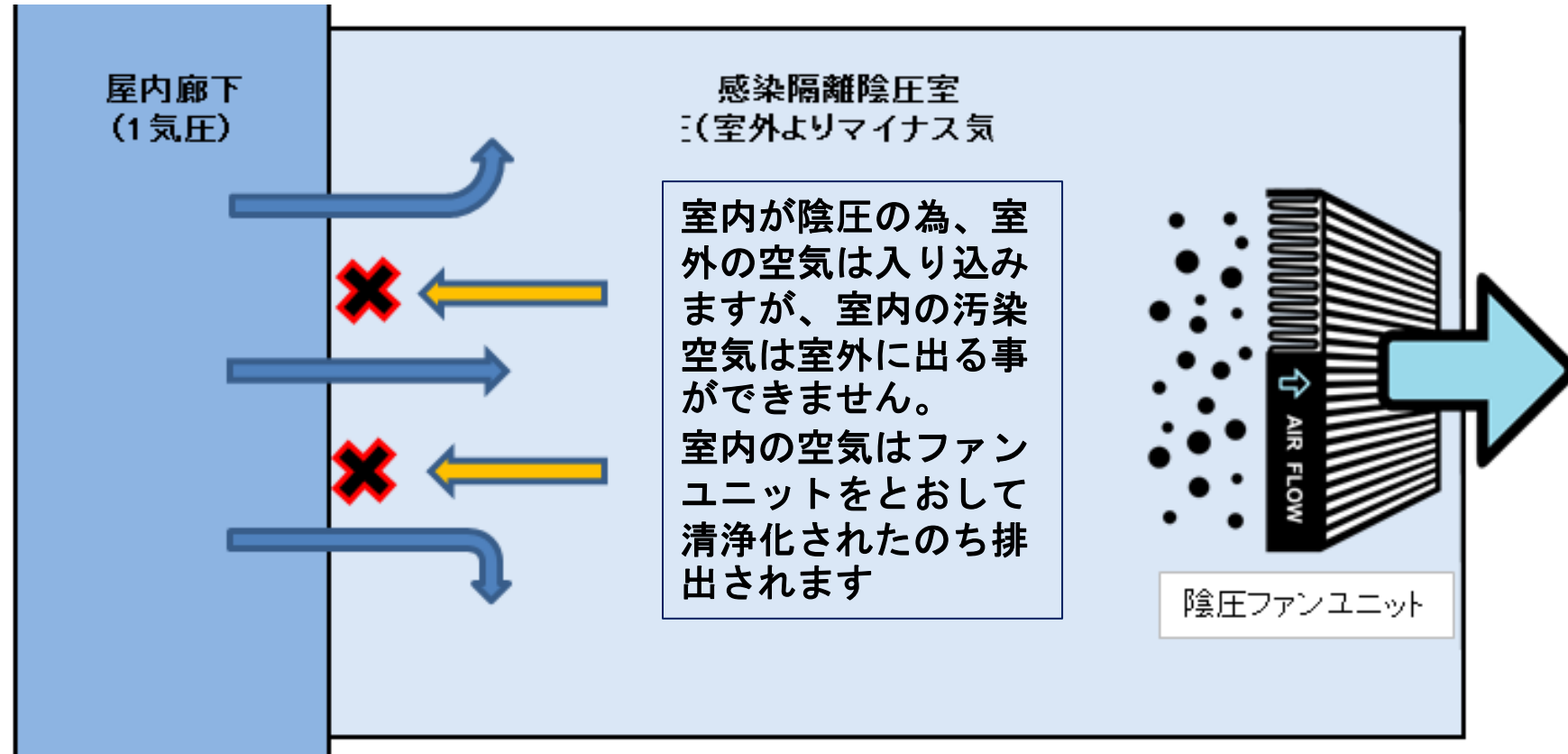


この他、屋外に面会所を設ける方法や、WEB形式の面会が有ります。

陰圧感染隔離室 とは

NEGATIVE
PRESSURE
ROOM

陰圧室内に感染者などを隔離
する事で、汚染された空気を
室外に漏らしません



HEPAフィルターなどの高性能フィルターを装備した陰圧用ファンユニットにより陰圧室内の空気を室外に吸い出す事により、室内を陰圧（室外より低い気圧）に保つことで、室内の汚染空気が室外に漏れないようにします。
ファンから吸い出された空気もHEPAフィルターなどで濾過されるため清浄な空気として室外に排出されます

開発迄の経緯

- 株式会社レブセルは、2020年9月より医療機関・高齢者施設向けに陰圧ルームの発売を開始しました。



屋外・発熱外来用陰圧ルーム



屋内・陰圧隔離ルーム、診察用陰圧ブース

その中で、心に残った言葉が有ります。ある高齢者施設の施設長さんの言葉です。

「家族との面会ができない事が一番入所者には辛いこと。私の責任で面会をさせています。」

その言葉がずっと心に残っていました。私も父を2020年4月に面会を制限される中、病院で入院中に亡くしました。

いつか役立つ商品を作ろう。かけがえのない家族との時間を安全に行える製品を作ろう。

そんな時に、弊社代理店のスカイガードさん・協力工場のアライブテックさんの後押しで開発がスタートしました。

開発コンセプト

製品の特長

1. 安全である事

⇒常時圧力状態が目視で容易に判断できる「独自の安全機構」を搭載。

* 特許出願申請中

2. 陰圧度合（圧差）、換気回数を感染症学会や米国CDCのガイドラインを守る事。

⇒圧力差 2.5 Pa以上・換気回数は毎時 30 回以上に設定。

使用後約 2 分間で空気が入れ替わります。

3. 移動ができる事

⇒施設の玄関にて面会者にはブース内に入って頂きます。

このことにより、防護服やフェイスガードを面会者は付けなくて済み、入所者に面会者の顔をはっきり見せることができます。

隔離状態で面会者を移動できる為、施設内の消毒区域を限定できます。

4. コンパクトである事

⇒面会室や居室などの扉を通れるようブースの奥行は 80cm としました。

5. 蓄電池を搭載して移動中も陰圧をキープできる事

⇒約 7 時間の充電で、約 11 時間稼働します。

従来品を応用

既に陰圧ブース製造販売の実績が有りその経験を開発に活かしています。



検査用陰圧ブース製作イメージ

2020年発売



検査用陰圧ブース MCB-01



面会用陰圧ブース製作イメージ



2021年発売



面会用陰圧ブース MCM-01N

面会用 移動式 陰圧ブース

介護用
面会・待合待機・内覧
軽症者の移動（搬送）

医療用
検査・診察
面会・待合待機
軽症者の移動（搬送）



1 m 6 0 Cm



8 0 Cm

1 m 2 0 Cm

サイズ	長さ1200mm 奥行800mm 高さ1600mm ×その他のサイズもご相談ください
換気回数	毎分30回以上
圧差	米国CDC推奨値2.5Pa以上・陰圧仕様・陽圧仕様を選択できます
HEPAフィルター	0.3μmの粒子にて、捕集効率99.997%以上
乗車可能人数	1~2人(積載荷重・約280Kg)

導入イメージ

コンパクトで柔らかい色調なので、違和感なく導入して頂けます。

玄関から面会者のはブースに乗って頂き、陰圧状態で隔離されたまま面会室まで移動して頂きます。

しっかり顔が見えるので自然と笑顔がこぼれます。

会話はインターフォンが付いてますのでハンズフリーにて可能です

約2分で空気が入れ替わりますので、使用後は5分程度陰圧状態のままキープして頂き、その後清掃して頂きます。

キャスターで移動ができますので、軽傷者の居室からの移動や、内覧会用にもご利用頂けます。



お問合せ先



株式会社レブセル

本社：神奈川県横浜市都筑区中川1-2 F 1307

東京事務所：東京都港区南青山2-2 WIN アヤビル UCF 9階

設立：2014年5月

事業内容

高気圧酸素カプセルの製造販売

感染症対策用陰圧室の製造販売

問合せ先

電話：03-6869-1927

FAX：03-6869-7718

Mail：info@revcell.jp

URL：https://www.revcellnpr.com/